

BOSE

QUIETCONTROL™ 30



OWNER'S GUIDE • BRUGERVEJLEDNING
BEDIENUNGSANLEITUNG • GEBRUIKERSHANDLEIDING
GUÍA DEL USUARIO • KÄYTTÖOHJE • NOTICE D'UTILISATION
MANUALE DI ISTRUZIONI • KEZELÉSI ÚTMUTATÓ
BRUKERVEILEDNING • PODRĘCZNIK UŻYTKOWNIKA
MANUAL DO PROPRIETÁRIO • BRUKSANVISNING
ຄູ່ມືຜູ້ໃຊ້ • 사용자 안내서 • 用戶指南 • 使用者指南 • 取扱説明書 • دليل المالك

安全上の留意項目

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

- 大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間にわたるヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。
 - ヘッドホンを使用する場合は、耳に負担をかけないように適度な音量に調節してください。
 - 再生機器の音量を下げた後からヘッドホンを耳に装着し、適度な音量になるまで少しずつ音量を上げてください。
- 運転中の通話にヘッドホンを使用する場合は、携帯電話とヘッドホンの使用に関する国または地域の法令を確認し、これを遵守してください。一部の国または地域の法令では、運転中の製品の使用について、片耳だけのヘッドホンの使用など、特定の制限事項が適用される場合があります。車両を運転している時は、ヘッドホンを使用して音楽を聴いたりしないでください。
- 車道、建設現場、線路などの付近を歩いている時など、外部音が聞こえないことによって自身や他の人に危険が生じる可能性がある場合は、ノイズキャンセリング機能付きヘッドホンを使用しないでください。
 - アラームや警告音などの周囲の音が聞こえるように、ヘッドホンの電源をオフにするか、ノイズキャンセリング機能をオフにして音量を下げた後ヘッドホンをお使いください。
 - ヘッドホンを使用している時は、ノイズキャンセリング機能を弱めていても確認や注意喚起の音が普段と異なった感じで聞こえることがありますので、ご注意ください。
- ヘッドホンから異常な音が聞こえる場合は、ヘッドホンを使用しないでください。そのような場合は、ヘッドホンの電源をオフしてBoseカスタマーサービスにご連絡ください。
- 熱を感じた場合、または音声聞こえなくなった場合には、すぐにヘッドホンを外してください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 許可なく製品を改造しないでください。
- この製品には、使用する国の法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠した電源アダプターのみをお使いください。
- バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。

規制に関する情報

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This device complies with FCC and Industry Canada radiation exposure limits set forth for general population.

It must not be co-located or be operating in conjunction with any other antennas or transmitters.
Meets IMDA Requirements.

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

Management Regulation for Low-power Radio-frequency Devices

Article XII

According to "Management Regulation for Low-power Radio-frequency Devices" without permission granted by the NCC, any company, enterprise, or user is not allowed to change frequency, enhance transmitting power or alter original characteristic as well as performance to an approved low power radio-frequency devices.

Article XIV

The low power radio-frequency devices shall not influence aircraft security and interfere legal communications; If found, the user shall cease operating immediately until no interference is achieved. The said legal communications means radio communications operated in compliance with the Telecommunications Act.

The low power radio-frequency devices must be susceptible with the interference from legal communications or ISM radio wave radiated devices.

www.bose.com/patents



Bose Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU and all other applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: www.Bose.com/compliance

運用周波数帯: 2400 ~ 2480 MHz

Bluetooth®: 最大送信出力20 dBm EIRP未満

Bluetooth Low Energy: 最大電力スペクトル密度10 dBm/MHz EIRP未満



使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。
焼却しないでください。



This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

Li-ion



この製品のリチウムイオンバッテリーの取り外しはサービス担当者にお任せください。
詳細につきましては、弊社Webサイトを参照してください。

規制に関する情報



Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements						
Part Name	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal Parts	X	0	0	0	0	0
Plastic Parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0
This table is prepared in accordance with the provisions of SJ/T 11364. 0: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement of GB/T 26572.						
X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement of GB/T 26572.						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「7」は2007年または2017年です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riyang Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

EUにおける輸入元: Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No.10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan
Phone Number: +886-2-2514 7676

メキシコにおける輸入元: Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F. Phone Number: +5255 (5202) 3545

入力定格: 5V $\overline{\text{---}}$ 1A

「Made for iPod」、「Made for iPhone」および「Made for iPad」とは、そのアクセサリーがiPod、iPhone、あるいはiPadへの接続専用に設計され、アップル社が定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリーであることを示します。アップル社は、本製品の機能、安全、および規格への適合について、一切の責任を負いません。このアクセサリーをiPod、iPhoneあるいはiPadと共に使用すると、無線通信の性能に影響を与える場合があります。

Apple、Appleのロゴ、iPad、iPhone、iPod、およびSiriはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。

Android、Google Now、Google Play、およびGoogle PlayのロゴはGoogle Inc.の商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639.

©2017 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複製、変更、配布、その他の使用は許可されません。

Bose® Connect アプリ

Bose Connect アプリの機能.....	7
--------------------------	---

内容物の確認

目次.....	8
---------	---

正しい装着の重要性

正しい StayHear®+ QC® チップを選ぶためのヒント.....	9
イヤホンの耳への装着.....	9
StayHear®+ QC® チップの交換.....	10

ヘッドホンの操作

電源オン.....	12
電源オフ.....	12
ヘッドホンの機能.....	13
メディアの再生機能と音量調節機能.....	13
通話機能.....	14
通話中のノイズキャンセリング機能について.....	14
音声コントロールを使用する.....	15

可変ノイズキャンセリング

可変ノイズキャンセリングの仕組み.....	16
ノイズキャンセリングレベル.....	16
ノイズキャンセリング機能の調整.....	17
ノイズキャンセリングを強める.....	17
ノイズキャンセリングを弱める.....	17
Bose Connect アプリを使用する.....	17
ノイズキャンセリング機能のみを使用する.....	17

バッテリー

ヘッドホンの充電.....	18
充電時間.....	19
充電状態の確認.....	19

目次

ステータスインジケータ

Bluetooth®インジケータ	21
バッテリーインジケータ	21

音声ガイド

組み込まれている言語	22
言語の変更	22

Bluetooth 接続

ペアリング方法を選択する	23
NFCについて	23
モバイル機器のBluetoothメニューを使用してペアリングする	24
NFC機能を使用してペアリングする	26
モバイル機器の接続を解除する	27
モバイル機器を再接続する	27

複数機器とのBluetooth 接続

別のモバイル機器をペアリングする	28
接続されているモバイル機器を識別する	28
接続されている2台のモバイル機器を切り替える	28
前にペアリングしていたモバイル機器を再接続する	29
ヘッドホンのペアリングリストを消去する	29

補足事項

ヘッドホンを収納する	30
ヘッドホンのお手入れ	31
交換部品とアクセサリ	31
保証	31

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら	32
------------	----

Bose Connect アプリをダウンロードすれば、ソフトウェアのアップデート、ヘッドホンの設定変更、Bluetooth 接続の管理が簡単になり、将来の新機能も利用できます。

Bose Connect アプリの機能

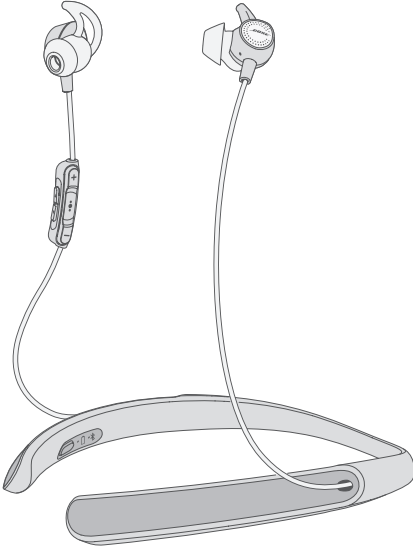
- QuietControl™ 30 wireless headphones の能力を最大限に引き出します。
- 1回のスワイプ操作だけでモバイル機器に簡単に接続し、複数の機器を切り替えることができます。
- ヘッドホンの設定をカスタマイズできます。
 - ヘッドホンの名前の設定
 - 音声ガイドの言語の選択、ガイドの ON-OFF
 - スタンバイタイマーの調整
- 周囲の音が聞こえる/聞こえないようにするためにノイズキャンセリング機能を調節できます。
- 友達と音楽を共有できます。
- ファームウェアアップデートで本製品を常に最新の状態に保つことができます。
- よくある質問とその答えを確認できます。



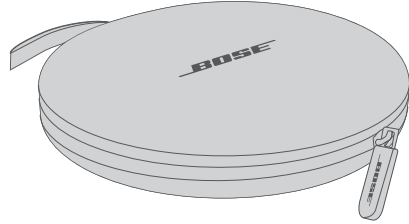
内容物の確認

目次

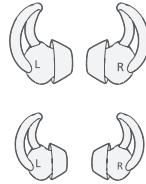
箱の中身を取り出して、下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Bose® QuietControl™ 30
wireless headphones

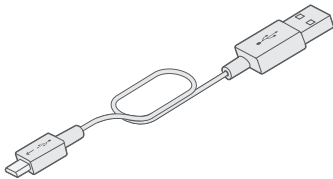


キャリングケース



StayHear®+ QC*チップ:
Large (黒)、Small (白)

注: Medium (グレー)チップはイヤホンに取り付けられています。



USBケーブル

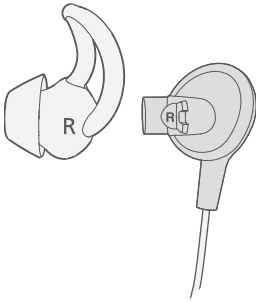
注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。
弊社WEBサイトをご参照ください
global.Bose.com/Support/QC30

正しいStayHear®+ QC®チップを選ぶためのヒント

音響性能を最大限に発揮させるためには、正しいサイズのStayHear®+ QC®チップを選ぶことが重要です。左右それぞれの耳に、最も快適でぴったりフィットするサイズを選んでください。最もフィットするものを選ぶには、3つのサイズすべてを試してみた方がよいでしょう。左右の耳で異なるサイズのものが最適な場合もあります。

フィット感を試すには、ヘッドホンの電源をオフにして声を出してみてください。自分の声が両耳ともこもって聞こえるはずですが、もしそうでなければ、別のサイズのチップを試してください。

StayHear+ QCチップとイヤホンにはそれぞれ、**L**または**R**の印が付いています。左のイヤホンには左用のチップを、右には右用のチップをよく確かめて取り付けてください。



イヤホンの耳への装着

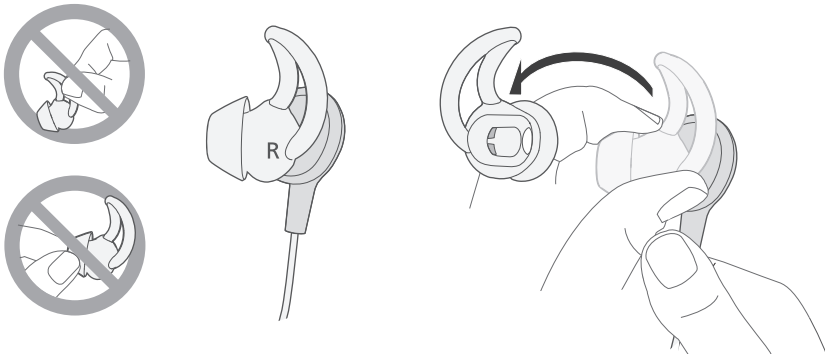
StayHear+ QCチップによって、快適で、かつイヤホンが耳にしっかりと収まります。チップのウイング部分を耳の溝にフィットさせてください。

1. StayHear+ QCチップが耳穴に優しく収まるようにイヤホンを差し込みます。
2. イヤホンを後ろ側に傾けてチップのウイング部分を耳の溝に入れ、しっかりと止まるようにします。

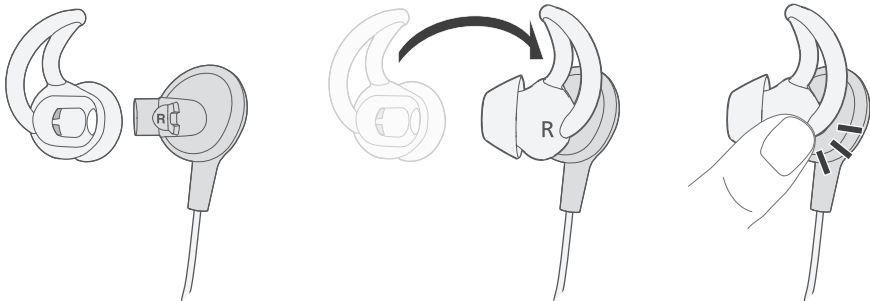
StayHear®+ QC®チップの交換

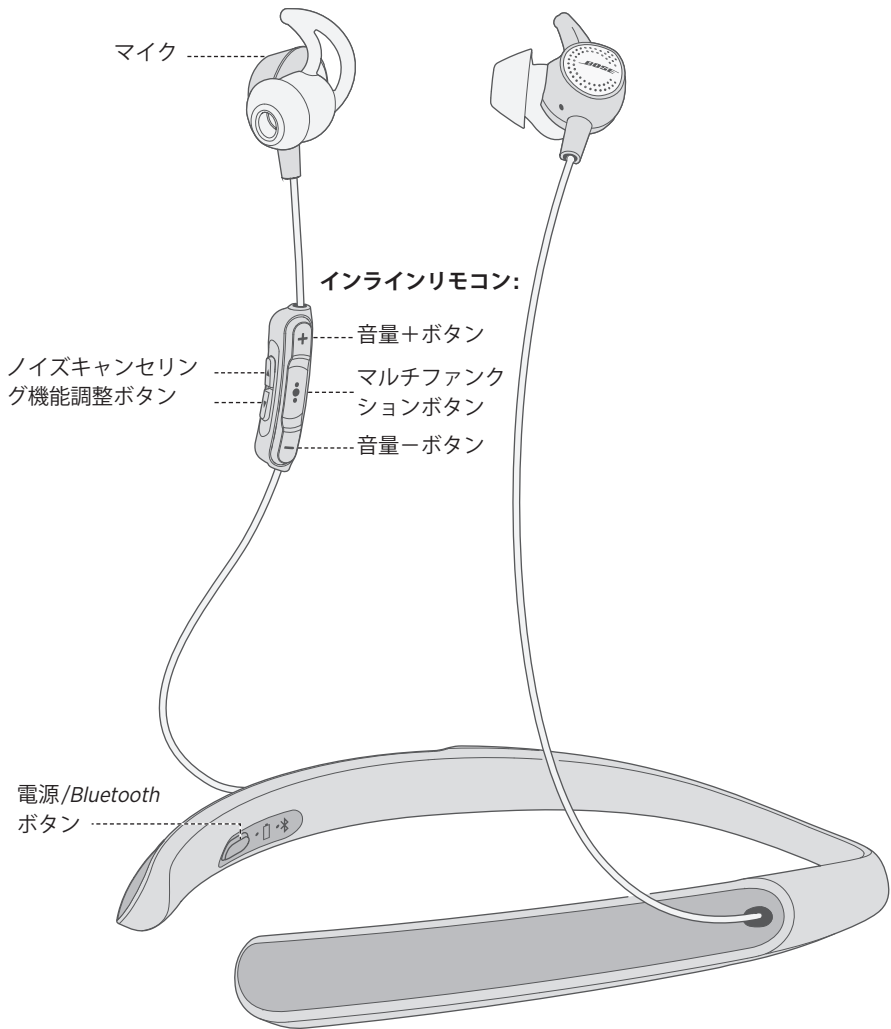
1. イヤホンの根元部分を持ち、取り付けられたStayHear®+ QC®チップを優しくつまみ、剥がすようにしてイヤホンから取り外します。

注意: StayHear+ QCチップを破損しないように、必ずチップ本体を持ってください。チップのウイング部分を引っ張らないでください。



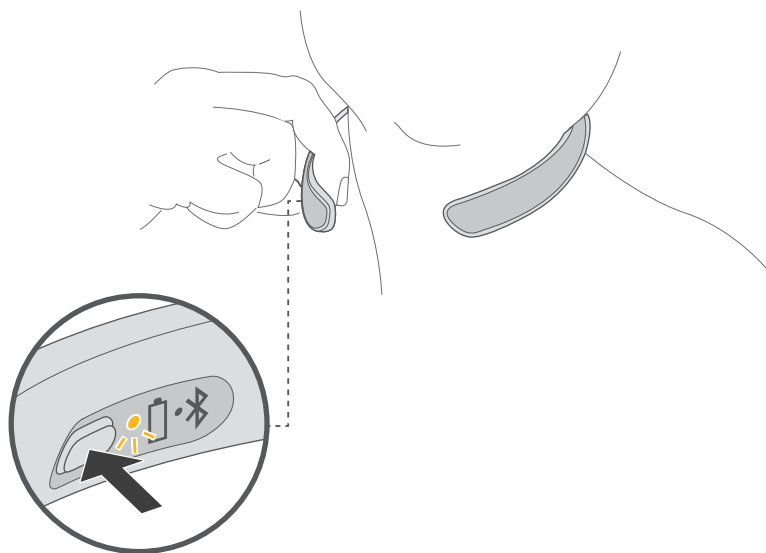
2. 新しいStayHear+ QCチップの溝をイヤホンのノズル部分に合わせて、チップをノズルにかぶせるように差し込みます。チップを押し込んで、ぴったりとはまり、正しく固定されていることを確認します。





電源オン

バッテリーインジケーターが緑、オレンジ、または赤(色によってバッテリー残量を表しています)に点灯するまで電源/Bluetooth ボタンを押してください。



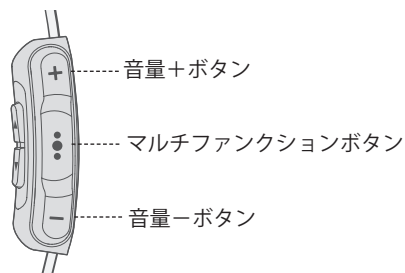
注: 初めてヘッドホンの電源をオンにした時は、ノイズキャンセリング機能が最も強い設定になっています。詳しくは、16ページをご覧ください。

電源オフ

バッテリーインジケーターが3回点滅して、ビープ音が聞こえるまで電源/Bluetooth ボタンを長押ししてください。

ヘッドホンの機能

ヘッドホンの操作部は右イヤホン下のインラインリモコンにあります。

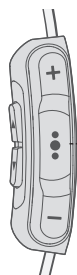


メディアの再生機能と音量調節機能

機能	操作方法
再生/一時停止	マルチファンクションボタン ●●● を押します。
トラック送り	●●● ボタンを続けて2回押します。
トラック戻し	●●● ボタンを続けて3回押します。
早送り	●●● ボタンを続けて2回押し、2回目はそのまま押し続けます。
早戻し	●●● ボタンを続けて3回押し、3回目はそのまま押し続けます。
音量を上げる	+ ボタンを押します。
音量を下げる	- ボタンを押します。

ヘッドホンの操作

通話機能



マルチファンクションボタン

機能	操作方法 (お使いのモバイル機器の仕様により異なります)
着信に応答する	マルチファンクションボタン ●●● を押します。
通話を終了する	●●● ボタンを押します。
着信を拒否する	●●● ボタンを1秒間長押しします。
通話中の相手を保留にして 割込み着信に応答する	通話中に ●●● ボタンを1回押します。
割込み着信を拒否して、 現在の通話を続ける	通話中に ●●● ボタンを1秒間長押しします。
2つの通話を切り替える	2回線の通話が有効な状態で、●●● ボタンを2回押します。
カンファレンスコール	両方の通話相手と話す場合は、●●● ボタンを1秒間長押しします。
モバイル機器の音声コントロール を使用して電話をかける	●●● ボタンを1秒間長押しします。 一部の機器は音声コントロールに対応していない場合があります。詳細については、ご使用のモバイル機器の取扱説明書をご覧ください。
通話をミュート/ミュート解除する	通話中に + ボタンと - ボタンを同時に押します。

音声ガイドによる通知

ヘッドホンには、着信時に連絡先リストに保存されている発信元を知らせる機能があります。

この機能を無効にするには、Bose® Connect アプリをダウンロードしてください。

注: 音声ガイドによる通知を無効にすると、すべての音声ガイドが使えなくなります。

通話中のノイズキャンセリング機能について

電話が着信したとき、ヘッドホンのノイズキャンセリングレベルはその時の設定が継続されます。通話中のノイズキャンセリング機能を調整するには、ノイズキャンセリング機能調整ボタンを押してください(17ページを参照)。

音声コントロールを使用する

ヘッドホンに内蔵されているマイクがモバイル機器の外部マイクとして機能します。マルチファンクションボタン ●●● を使って、モバイル機器の音声コントロール機能にアクセスして、通話したり、SiriやGoogle Now™で音楽を再生したり、天気を尋ねたり、スポーツのスコアを調べたりすることなどできます。

モバイル機器の音声コントロールを起動するには、●●● ボタンを長押しします。音声コントロールが起動するとビープ音が聞こえます。



可変ノイズキャンセリングの仕組み

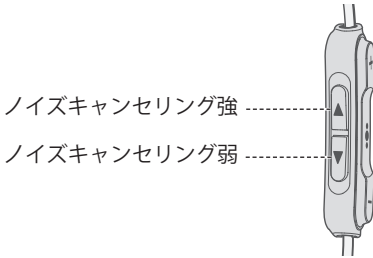
- ノイズキャンセリング機能は、周囲の不要なノイズを抑制してよりクリアな生き生きとしたサウンドを再生するための機能です。
- ヘッドホンの電源をオンにするたびに、ノイズキャンセリング機能が最大(12)になります。
- 音楽を聴く時だけでなく、ノイズキャンセリング機能のみで使用することもできます。
- ノイズキャンセリング機能を強めると、外部の不要なノイズは低減されます。
- ノイズキャンセリング機能を弱めると、周囲の音が聞こえるようになります。
- 電話が着信したとき、ヘッドホンのノイズキャンセリングレベルはその時の設定が継続されます。

ノイズキャンセリングレベル

ノイズキャンセリング機能は12段階の調整ができます。レベル1がノイズキャンセリング機能が最も弱い状態で、レベル12が最も強い状態です。

ノイズキャンセリング機能の調整

周囲の音の大きさを調整するには、インラインリモコンにあるノイズキャンセリング機能調整ボタンを使用するか、Bose® Connectアプリをダウンロードします。



ノイズキャンセリングを強める

ノイズキャンセリングを強めて周囲の音を遮断するには、所望の設定になるまで▲ボタンを長押しします。レベルが最高になると、ビープ音が2回聞こえます。

ノイズキャンセリングを弱める

ノイズキャンセリングを弱めて周囲の音が聞こえるようにするには、所望の設定になるまで▼ボタンを長押しします。レベルが最低になると、ビープ音が2回聞こえます。

Bose Connectアプリを使用する

Bose Connectアプリをダウンロードして、ノイズキャンセリング機能を調整することもできます。

ノイズキャンセリング機能のみを使用する

音楽を聴いていないときでも、ノイズキャンセリング機能のみを使用して、周囲の音を遮断することができます。

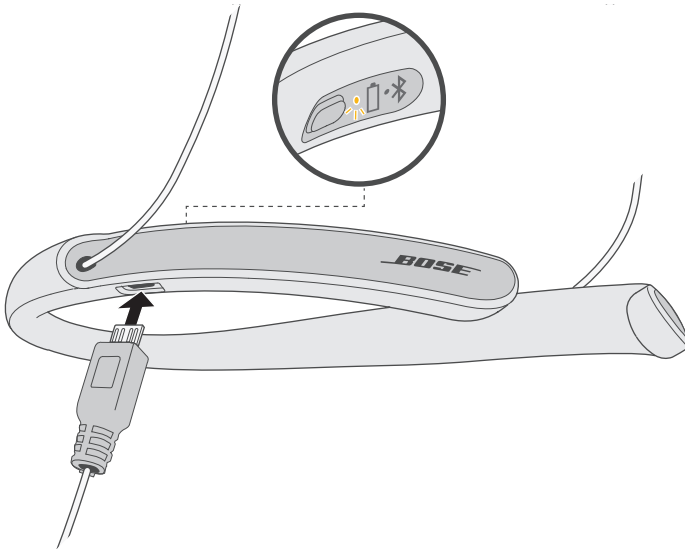
1. ヘッドホンの電源をオンにします(12ページを参照)。
2. モバイル機器の接続を解除します(27ページを参照)。

ヒント: 音楽を一時停止または停止するだけでも構いません(13ページを参照)。

ヘッドホンの充電

注意: 本製品には、使用する国の法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠した電源アダプターのみをお使いください。

1. ネックバンドの右側にあるカバーを開きます。
2. USBケーブルの小さい方のプラグをUSB端子に差し込みます。



3. USBケーブルのもう一方をウォールチャージャーまたは電源の入っているパソコンに接続します。

充電中はバッテリーインジケーターがオレンジに点滅します。バッテリーの充電が終了すると、バッテリーインジケーターは緑に点灯します。

注: 充電の前に、室温が10°C ~ 40°Cの範囲内であることを確認してください。

充電時間

バッテリーを完全に充電するには最大3時間かかります。完全に充電した場合、ヘッドホンを最大10時間使用できます。

注: 充電中はヘッドホンで音楽を聴くことはできません。

充電状態の確認

ヘッドホンの電源をオンにするたびに、バッテリーの残量を知らせる音声ガイドが流れます。ヘッドホンを使用中にバッテリーの充電が必要になると、バッテリーインジケーターが赤く点滅します。詳しくは、21ページをご覧ください。

注: バッテリーの状態を目で確認するには、ネックバンドの右内側にあるインジケーターをご覧ください。

ステータスインジケータ

Bluetoothインジケータとバッテリーインジケータはネックバンドの右内側にあります。



Bluetooth インジケータ

モバイル機器の接続状態を示します。

インジケータの表示	システムの状態
青の点滅	ペアリングができます
白の点滅	接続中
白の点灯	接続済み

バッテリーインジケータ

バッテリー残量を示します。

インジケータの表示	システムの状態
緑	十分に充電されている
オレンジ	バッテリー残量低下
赤の点滅	充電が必要

注記:

- バッテリーの状態を目で確認するには、ネックバンドの右内側にあるインジケータをご覧ください。
- Apple 製品に接続すると、画面の右上と通知センターにヘッドホンのバッテリー残量が表示されます。

音声ガイド

本製品には、Bluetooth接続の手順を案内し、バッテリー残量と接続したモバイル機器を知らせる音声ガイドが組み込まれています。ヘッドホンのボタンを使って、音声ガイドの設定を変更することができます。

ヒント：音声ガイドの設定は、Bose® Connectアプリを使用して簡単に変更することもできます。

組み込まれている言語

本製品には以下の言語があらかじめ組み込まれています。

- 英語
- ドイツ語
- 韓国語
- スウェーデン語
- スペイン語
- 中国語
- イタリア語
- オランダ語
- フランス語
- 日本語
- ポルトガル語

その他の言語を確認する

今後、その他の言語が追加される場合があります。最新の言語を確認するには、Bose® Updaterをダウンロードします。
btu.Bose.comにアクセスしてください。

言語の変更

ヘッドホンの電源を初めてオンにした時は、英語の音声ガイドが聞こえます。ガイドの言語を変更するには、次の操作を行います。

1. 最初の言語の音声ガイドが聞こえるまで **+** ボタンと **-** ボタンを同時に長押しします。
2. **+** ボタンまたは **-** ボタンを押して、使用したい言語がアナウンスされるまで送ります。
3. 使用する言語が聞こえたら、●●● ボタンを長押しして選択します。

Bluetoothワイヤレステクノロジーにより、スマートフォン、タブレット、パソコンなどの音楽をワイヤレス再生することができます。Bluetooth対応機器の音楽を本製品で再生するには、あらかじめ機器同士をペアリングしておく必要があります。

ペアリング方法を選択する

モバイル機器とヘッドホンペアリングするには、Bluetoothワイヤレステクノロジーを利用する方法と、Near Field Communication (NFC)機能を利用する方法があります。

NFCについて

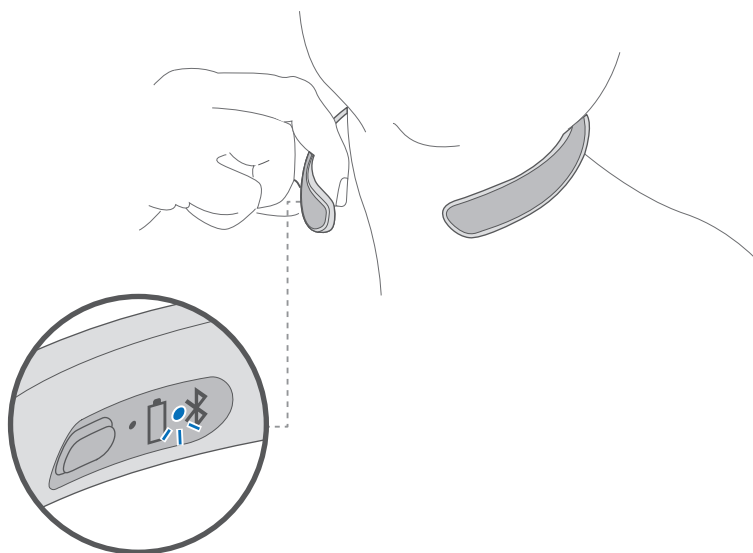
NFCは、2台のBluetooth対応機器同士をタッチするだけでワイヤレス通信を確立する機能です。お使いの機器がNFCに対応しているかどうかは、機器の取扱説明書をご覧ください。

お使いの機器がNFCによるBluetoothペアリングに対応しているかどうか分からない場合:	「モバイル機器のBluetoothメニューを使用してペアリングする」(24ページ)の説明に従ってください。
お使いのモバイル機器がNFCによるBluetoothペアリングに対応している場合:	「NFC機能を使用してペアリングする」(26ページ)の説明に従ってください。

注: お使いのモバイル機器がNFCによるBluetoothペアリングに対応している場合は、どちらの方法でもペアリングできます。

モバイル機器のBluetoothメニューを使用してペアリングする

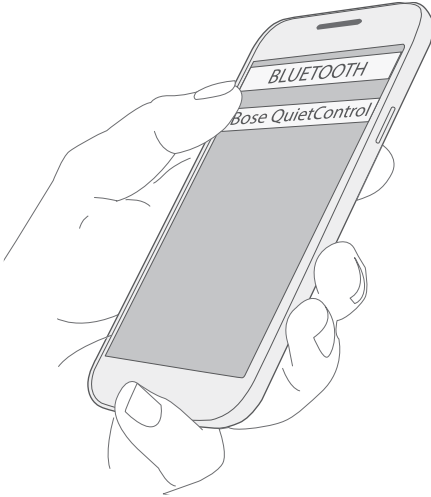
1. 音声ガイドで「ペアリングの準備が完了しました」と聞こえるか、Bluetoothインジケーターが青く点滅するまで、ヘッドホンの電源がオンの状態で、「電源/Bluetooth」ボタンを長押しします。



2. モバイル機器のBluetooth機能をオンにします。

ヒント: 通常、Bluetooth機能は「設定」メニューにあります。

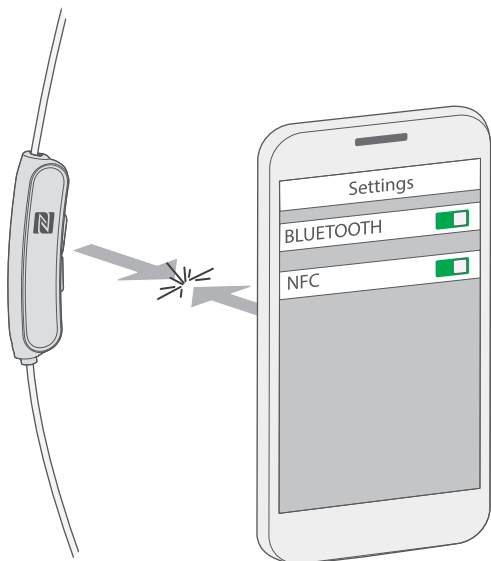
3. デバイスリストから本製品を選択します。



ペアリングされると、「<機器名>に接続済みです」という音声ガイドが聞こえ、Bluetoothインジケータが白に点灯します。

NFC機能を使用してペアリングする

1. ヘッドホンの電源をオンにします。モバイル機器のロックを解除して、Bluetooth機能とNFC機能をオンにします。この機能の詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください。
2. モバイル機器のNFCタッチポイントをインラインリモコンの裏側に当てます。ペアリングを求めるメッセージがモバイル機器に表示された場合は許可してください。



ペアリングされると、「<機器名>に接続済みです」という音声ガイドが聞こえ、Bluetoothインジケータが白に点灯します。

モバイル機器の接続を解除する

モバイル機器のBluetooth機能をオフにします。

ヒント: Bose® Connect アプリを使用して接続を解除することもできます。

モバイル機器を再接続する

本製品は電源をオンにすると、最後に接続していた2台の機器に再接続します。

注: モバイル機器が通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。

複数機器との *BLUETOOTH* 接続

ヘッドホンに複数の機器をペアリングできます。接続した *Bluetooth* 機器の切り替えは電源/*Bluetooth* ボタンで行います。音声ガイドが、接続先を順に案内します。接続するモバイル機器を追加する前に、この機能が有効であることを確認してください。

ヒント: Bose® Connect アプリを使用して、接続した複数の機器を簡単に管理することができます。

別のモバイル機器をペアリングする

本製品は、ペアリングした機器を最大8台まで記憶でき、同時に2台まで接続できます。

別の機器とペアリングするには、お好きなペアリング方法を使用してください(23ページを参照)。

注: ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。

接続されているモバイル機器を識別する

電源/*Bluetooth* ボタンを押すと、現在接続されている機器の名前が聞こえます。

接続されている2台のモバイル機器を切り替える

1. 1台目の機器の再生を停止します。
2. 2台目の機器で音楽を再生します。

前にペアリングしていたモバイル機器を再接続する

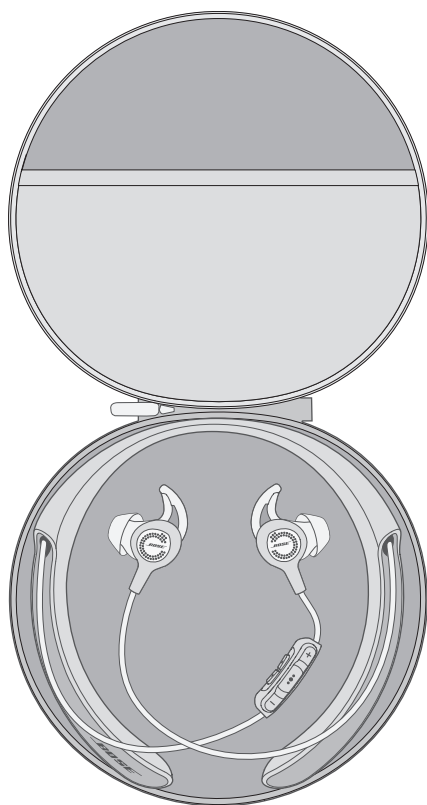
1. 電源/*Bluetooth* ボタンを押して、接続されている機器名を音声で確認します。
2. 電源/*Bluetooth* ボタンを3秒以内にもう一度押すと、ヘッドホンのペアリングデバイスリストに登録されている次の機器に接続します。使用する機器の名前が聞こえるまで、手順を繰り返します。
3. 接続された対応機器で音楽を再生します。

ヘッドホンのペアリングリストを消去する

1. 電源/*Bluetooth* ボタンを、「*Bluetooth* デバイスリストを消去しました」と聞こえるまで10秒間長押しします。
2. モバイル機器の*Bluetooth* リストからお使いのヘッドホンを削除します。すべての機器が消去され、ヘッドホンがペアリング可能な状態になります。

ヘッドホンを収納する

- 本製品を使用しない時は、電源をオフにしてください。
- 本製品を数か月以上使用しない場合は、バッテリーを完全に充電してから保管してください。
- 保管の際はヘッドホンをキャリングケースに収納してください。



ヘッドホンのお手入れ

ヘッドホンは定期的にお手入れすることをお勧めします。

コンポーネント	お手入れの手順
StayHear®+ QC®チップ:	チップをイヤホンから外します。外したチップは水で薄めた中性洗剤で洗ってください。 注: チップをイヤホンに取り付ける前に、水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。
ヘッドホンのノズル	乾いた柔らかい布か綿棒などを使ってそっと汚れを拭き取ってください。ノズルの開口部に清掃道具を差し込まないでください。
ネックバンド	乾いた柔らかい布を使用してください。洗剤や化学薬品などは使用しないでください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。弊社WEBサイトをご参照ください global.Bose.com/Support/QC30

保証

製品保証の詳細は弊社Webサイトをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

故障かな？と思ったら

ヘッドホンに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- ヘッドホンの電源をオンにします(12ページを参照)。
- ステータスインジケータの状態を確認します(21ページを参照)。
- お使いのモバイル機器がBluetoothに対応していることを確認します(23ページを参照)。
- バッテリーを充電します(18ページを参照)。
- ヘッドホン、モバイル機器、音楽再生アプリの音量を上げます。
- モバイル機器をヘッドホンに近づけ、他の干渉源や障害物から離します。
注: Bluetoothアンテナはネックバンド右側のBoseロゴの裏側にあります。
- 別の機器を接続してみます(23ページを参照)。

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

弊社WEBサイトをご参照ください

global.Bose.com/Support/QC30

症状	対処方法
ヘッドホンとモバイル機器のペアリングができない	<ul style="list-style-type: none">• モバイル機器での操作:<ul style="list-style-type: none">- Bluetooth機能をオフにしてから、再度オンにします。- モバイル機器のBluetoothリストからお使いのヘッドホンを削除します。ペアリングし直します。• 別のモバイル機器とペアリングして試してみてください(23ページを参照)。• global.Bose.com/Support/QC30にアクセスして、解説ビデオを参照します。• ヘッドホンのペアリングリストを消去する: 電源/Bluetoothボタンを、「Bluetoothデバイスリストを消去しました」と音声ガイドが聞こえるまで、約10秒間長押しします。モバイル機器のBluetoothリストからお使いのヘッドホンを削除します。ペアリングし直します。• モバイル機器をポケットに入れている場合は取り出して、ヘッドホンに近付けます。 注: Bluetoothアンテナはネックバンド右側のBoseロゴの裏側にあります。

症状	対処方法
ヘッドホンがNFC対応のモバイル機器とペアリングできない	<ul style="list-style-type: none"> お使いの機器のロックを解除して、Bluetooth機能とNFC機能をオンにします。 接続機器のNFCタッチポイントを本製品のインラインリモコンの裏側に当てます。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音声ガイドがオンになっていることを確認します。電源/Bluetoothボタンを押して、接続した機器の名前を音声で確認します。正しい機器が接続されていることを確認してください。 別の楽曲や音楽再生アプリを使用します。 別のモバイル機器とペアリングして試してみてください(24ページを参照)。 モバイル機器が2台接続されている場合は、1台目のモバイル機器で再生を一時停止し、2台目のモバイル機器で音楽を再生します。
音質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 別の楽曲や音楽再生アプリを使用します。 別の対応機器で試してみてください。 2台目の機器の接続を解除してください。 ヘッドホンとモバイル機器の間に遮蔽物がない状態で使用してください。 モバイル機器をポケットに入れている場合は取り出して、ヘッドホンに近付けます。 <p>注: Bluetoothアンテナはネックバンド右側のBoseロゴの裏側にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> チップやヘッドホンのノズルの先端にゴミなどが詰まっていれば取り除いてください。
ノイズキャンセリング機能を使用できない	<ul style="list-style-type: none"> ノイズキャンセリングを強めます。所望の設定になるまで▲ボタンを長押しします。 Bose® Updaterをダウンロードして、ヘッドホン用ソフトウェアを更新します。btu.Bose.comにアクセスしてください。
ノイズキャンセリング機能を調整できない	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンの電源をオフにしてから、もう一度オンにします。 ヘッドホンを充電します。 適切なサイズのStayHear®+ QC®チップを使用してください(9ページを参照)。

故障かな？と思ったら

症状	対処方法
ヘッドホンを充電できない	<ul style="list-style-type: none">• ネックバンドの右内側にあるカバーを開いて、USBケーブルの小さい方のプラグをUSB端子にしっかりと差し込みます。ケーブルの端子がヘッドホンの端子にしっかりと接続されていることを確認します。• USBケーブルの両端をしっかりと接続し直します。• ヘッドホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してからもう一度充電してください。
マイクが音を正常に拾わない	<ul style="list-style-type: none">• 右側のイヤホン(Boseロゴの近く)にあるマイクの開口部が塞がれていないことを確認します。• もう一度電話をおかけ直してください。• 対応している別の機器で試してみてください。
モバイル機器がボタン操作に反応しない	<ul style="list-style-type: none">• マルチファンクションボタン ●●● を2回以上続けて押す操作の場合は、押す速度を変えてお試しください。• 一部のモデルでは、操作機能が限定される場合があります。• 対応している別の機器で試してみてください。
StayHear®+ QC®チップが外れる	チップをイヤホンにしっかりと取り付けます(9ページを参照)。
StayHear+ QCチップを紛失した	イヤータップの入手方法はBose®カスタマーサービスまでお問い合わせください。



782456-0010

BOSE

©2017 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM762456 Rev. 04